

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報

2 現場レポート

・「内航船への再就職を」退官予定の海上自衛隊員を対象とした海事セミナー・就職面接会を開催！！

・大分県の『日本一』を見学してきました

・～マリンレジャーと地域活性化の新たな拠点に～

「ふくおか・おどヨットハーバー 海の駅」の認定証授与式が開催されました

3 国土交通省からの公共交通に関する情報

4 公共交通に係る意見募集について

5 お知らせ

6 イベント情報

1 九州運輸局ホームページアップ情報

(12月18日～12月24日掲載分)

----- お知らせ -----

大雪時等に車両をけん引する際の注意事項について

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk7_000013.html

----- 各種情報 -----

《九州のうんゆ》

「九州のうんゆ」2014年12月22日公表

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/pdf/26.12.pdf>

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

(一般乗合旅客 26年11月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/niriai26.htm>

(一般貸切旅客 26年11月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri26.htm>

(一般乗用旅客 26年11月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou26.htm>

(一般貨物 26年11月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu26.htm>

(一般貨物(過積載) 26年11月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai26.htm>

----- その他 -----

《業務内容/海事振興部/船員労政課》

船員の最低賃金(更新)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaiji/file05/senin-saichin-261220.pdf>

2 現場レポート

「内航船への再就職を」

退官予定の海上自衛隊員を対象とした海事セミナー・就職面接会を開催！！

内航海運業界では、海運の安定的な輸送確保の観点から人的基盤である船員確保・育成対策は喫緊の課題となっているところですが、内航船員の高齢化により後継者不足が顕在化しつつあり、休業や廃業を余儀なくされ憂慮すべき事態となっています。

また、自衛官は、定年制自衛官と任期制自衛官とがあり、定年制自衛官は、幹部・准尉・曹の自衛官で、定年は階級により53歳～56歳となっています。任期制自衛官は、海上自衛官の場合任期は、1任期が3年間で2任期以降2年間となっており、4任期までで、若い人は27歳で退官することがあります。

この退官する海上自衛隊員の円滑な再就職を図る観点から、内航船員の確保・育成対策として、佐世保市にある海上自衛隊佐世保地方総監部において、再就職の準備段階で疑問や不安に思うことや、船員の資格や内航海運の制度等を説明する「海事セミナー」と内航海運業を行っている事業者と退職を間近にし、再就職を検討している海上自衛官との間で、お互いに直接話をする合同の「企業面接会」を開催しました。

開催日：平成26年12月12日（金）08：15～16：00

参加自衛官：65人 参加企業：24社

佐世保市でのこの取り組みは、平成21年度から実施しており今回で6回目となり、海上自衛隊によると全国でもここ佐世保と広島県呉市での2ヶ所で行っていることです。

「海事セミナー」では九州運輸局の職員が講師となり、内航海運業の仕組みや海技資格の制度・労働条件などを説明しましたが、参加した自衛官の中には、これらの仕組みを初めて耳にする方も多かったようで、現在勤務している艦艇の環境とは違う点、また、今後の求職活動での重要な点などより具体的な説明を受けながら内航海運を身近に感じて頂く良い機会となったと考えています。

参加された企業の方々も自社PRを積極的に行っており、ある企業は「3年前から参加しており、すでに5名の自衛官OBを採用している。」また、「船内で挨拶もしなかった若い船員を自衛官OBと同じ船に乗船させたところ挨拶をするようになった。」と言った話をしており、自衛官の経験や海技資格などをふまえながら即戦力になり得る船員確保に向けて強い意欲が感じられました。

なお、去年は自衛官7名が内航海運業へ再就職しており、今回も面接結果に大変期待しているところです。九州運輸局では、今後も求人・求職の両面から雇用の開拓拡大を図り、内航海運業界の人材確保に努めていくこととします。

海事セミナー・就職面接会の模様は下記URLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_291_1.pdf

【海事振興部船員労政課】

大分県の『日本一』を見学してきました

温泉の源泉数および湧出量日本一を誇る「おんせん県」大分県に、私達のくらしを支えている日本一があるのをご存知ですか？

それは津久見市を中心に産出される石灰石で、大分県は全国の産出量の約19%を占めています。なお、2位以下は山口県(11%)、高知県(11%)、福岡県(10%)と続きます。この石灰石はセメント、コンクリート骨材および鉄鋼の原料となり我が国の社会基盤を支えている、日本で自給できる数少ない資源のひとつです。

今回は、津久見市にある株式会社戸高鉱業社の鉱山を、大分運輸支局の職員が地元の内航海運事業者と共に見学しました。

まず、鉱山の概要について説明を受けた後、標高約600メートルに位置する戸高鉱山に移動し、実際の採掘現場を見学しました。「ベンチカット採掘法」と呼ばれる階段状に切り出された現場の壮大さや、最大積載量100トンを超すダンプカー(通常のダンプカーの積載量はおよそ10トン程度)を目にして、一同ただただ圧倒されるばかりでした。

石灰石の採掘の過程を簡単に紹介すると、穿孔・発破 積込・運搬 破碎・選鉱 出荷・輸送となっており、これらは中央管理室のコンピュータシステムで24時間休むことなく管理されています。

採掘された石灰石は主に船舶を用いて各地に海上輸送されますが、昨今の船員の人材不足により輸送手段の確保に腐心されているとのこと。運輸行政に携わる一員として、運輸業の魅力を若い方々に伝え、一人でも多くの方に携わって頂くことで、安定した輸送手段の確保ができるよう貢献できればとの思いを強くした一日でした。

見学の模様は下記URLからどうぞ。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_291_2.pdf

【大分運輸支局 輸送・監査部門】

～マリンレジャーと地域活性化の新たな拠点に～

「ふくおか・おどヨットハーバー 海の駅」の認定証授与式が開催されました

12月13日(土)、福岡市西区の福岡市ヨットハーバーが「ふくおか・おどヨットハーバー 海の駅」として登録され、認定証授与式が行われました。全国で151番目、九州では「いき 湯がっば海の駅」に次ぐ22番目の海の駅となります。

「ふくおか・おどヨットハーバー 海の駅」は、「小戸ヨットハーバー」の名称で、西日本有数のヨットハーバーとして福岡市民をはじめ全国のヨット愛好家に広く知られている施設で、全国でも珍しいヨット(セイリングボート)専用の海の駅です。

認定式は、当局海事振興部次長、福岡市港湾振興部長の来賓挨拶に続き、海の駅ネ

ットワーク理事長から「海の駅認定証」の交付、海の駅の看板授与が行われました。
式典終了後、イルミネーションの点灯式が行われ、ハーバー内に停泊中のヨットに一齐にイルミネーションが点灯されると、会場内は大きな歓声と拍手に包まれ、地元バンドによる演奏、地元商店街による出店や特産物のバザーも式典を大いに盛り上げ、寒い日ではありましたが、たくさんの来場者の方々の熱気に会場は遅くまで賑わっていました。

当海の駅は、12月の毎週土、日曜日及び祝日にイルミネーションを点灯しておりますので、お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。

九州運輸局においては、海の駅が新たな海と陸との交流拠点として活用されることによって地域の活性化につながるよう、海の駅に関する取り組みを今後も推進して参ります。

式の模様は下記URLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_291_3_1.pdf

【海事振興部 船舶産業課】

3 国土交通省からの公共交通に関する情報

国土交通省公共交通政策部交通計画課から発信の「公共交通メールマガジン」を下記のURLからご覧になることができます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_291_4_1.pdf

< コンテンツ >

地域公共交通活性化再生法の一部改正法と関係する政省令等の施行について
(総合政策局公共交通政策部交通計画課)

地域公共交通網形成計画の送付について～ 京都府等及び四日市市が全国で第1号～
(総合政策局公共交通政策部交通計画課)

社会資本整備審議会・交通政策審議会交通体系分科会計画部会合同会議の開催について
(総合政策局公共交通政策部参事官(総合交通))

本項目記事中、「交通政策基本計画(案)」の内容(別紙)は下記のURLからご覧になることができます。

<https://www.mlit.go.jp/common/001060993.pdf>

地方公共団体が策定する交通に関する条例一覧の国交省HP掲載のお知らせ
(総合政策局公共交通政策部 参事官(総合交通))

地域公共交通支援センターの掲載事例の更新について
(総合政策局公共交通政策部交通計画課)

「地域鉄道に関するあり方検討会」開催のご報告
(鉄道局鉄道事業課地域鉄道支援室)

各地方運輸局よりシンポジウム・セミナー開催のご報告

- ・地域公共交通シンポジウム in 札幌
- ・地域公共交通シンポジウム in 仙台
- ・地域公共交通セミナー 2014 in 関東
- ・地域公共交通活性化セミナー in 富山・松本
- ・公共交通シンポジウム in 中部・
- ・地域公共交通セミナー in 関西
- ・交通実践セミナー in 広島
- ・まちづくりと地域公共交通のあり方を考えるシンポジウム 2014 IN 四国

編集後記

4 公共交通に係る意見募集について

九州運輸局では公共交通全般について、幅広くご意見を募集いたします。
(対象は公共交通メールマガジンの内容に限りません)
頂いたご意見のうち、当運輸局において政策提言に当たると考えられたものは、国土交通省総合政策局公共交通政策部に報告いたします。
以下のメールアドレスまで電子メールにてお寄せ下さい。
(添付ファイルは、なるべく避けて頂きますと幸いです。)

送付先

九州運輸局企画観光部交通企画課 gst-qst-kikaku@ml.mlit.go.jp

5 お知らせ

【年末年始の輸送安全総点検実施中】

九州運輸局では、輸送機関等に人流・物流が集中する年末年始の輸送の安全に万全を期するため、「平成26年度 年末年始の輸送等に関する安全総点検」を次のとおり実施中です。

1. 実施期間

平成26年12月10日(水)から平成27年1月10日(土)まで

2. 実施内容

陸上・海上の各輸送機関等(鉄軌道交通、自動車交通、海上交通、利用運送業)について、安全管理・安全対策等の実施状況、関係法令等の遵守状況、施設等の点検整備状況、テロ対策及び新型インフルエンザ等対策の実施状況等を点検します。

【募集しています】『海フェスタくまもと』のシンボルマークと標語募集中！！

海フェスタくまもと実行委員会は、平成27年7月18日から8月2日まで熊本市・天草市・玉名市・宇城市・荒尾市・宇土市・上天草市・長洲町で開催される『海フェスタくまもと』の「シンボルマーク」と「標語」を募集しております。

“海フェスタ”は「海の日」本来の意義を再認識し、海に親しむことを目的に海にゆかりのある自治体で毎年開催されており、フェスタ期間中は船の一般公開や体験

乗船など、さまざまなイベントがおこなわれます。

なお、今回募集している「シンボルマーク」と「標語」は応募作品の中から各1点に最優秀賞として賞金10万円が贈られます。応募締切は平成27年1月9日、皆様のご応募よろしく申し上げます。

九州運輸局は『海フェスタくまもと』を応援しています！

応募要領は下記URLからどうぞ

<http://www.umifesta-kumamoto.com/> または

http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=6978

海の日・海フェスタについては下記URLからどうぞ

http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk1_000026.html

【海事振興部 旅客課】

6 イベント情報

うそ替え・鬼すべ（太宰府天満宮）

日時：平成27年1月7日（水）

場所：福岡県太宰府市宰府4-7-1 鬼すべ堂 太宰府天満宮

概要：天神さまのお使いの鳥「うそ」をかたどった木うそを交換し合い、神職の持つ物を手にした人に幸運が訪れる。鬼すべ神事は、その年の災難消除や開運招福を願い、地元氏子会が中心となって行われる勇壮な火祭りです。

大善寺玉垂宮の鬼夜

日時：平成27年1月7日（水）

場所：久留米市大善寺町宮本1463 大善寺玉垂宮

概要：「大善寺玉垂宮の鬼夜」は、大晦日の夜から正月7日まで行われる「鬼会（オニエ）」の最終日に行われる行事で、1600年余りの伝統があり、日本三大火祭りの一つに数えられるとともに、国の重要無形民俗文化財に指定されています。大松明の火をあびると無病息災といわれ、毎年、家内安全、災難消除、開運招福を祈願する多くの方々が賑わいます。

//////// 編集部より //

今年も残すところあと数日となりました。

皆様にとってどのような1年だったでしょうか？

さて、年の瀬が近くなると1年を振り返るニュース番組が幾つかのチャンネルで放送されています。これらの番組を見ていると最近の出来事は覚えていても何ヶ月も前の出来事などは割と忘れていく事が多く、改めて1年を振り返ることが私の年末行事となっています。

編集部では、4月以降新しいメンバーでいろんな情報を配信してまいりました。慣れないことばかりで至らない点も多かったのではないかと考えています。これから本メルマガが皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、今後ともご愛読くださるようお願いいたします。

さて、本号が今年最後の発行号です。なお、年初のメルマガは1月5日(月)に九州運輸局長をはじめ、幹部の「年頭の辞」を掲載した号外を配信する予定で、通常配信は1月15日からとなります。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。
////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192